

教育方法15 個性の開発と教師の力量

第一部

- | | | |
|-----|--|--------|
| I | 教育内容・方法における「個性」の問題 | |
| 一 | 教育実践における個性とはなにかー「現代」における「教授の知」とは何かー | 碓井 岑夫 |
| 二 | 教育の全体構造における個性の位置 | 日比 裕 |
| 三 | 「個性」は公教育内容の編成原理たり得るか | 水内 宏 |
| 四 | 個性についてー軍隊教育からの教訓ー | 城丸 章夫 |
| II | これからの教育方法学研究の方向を探る | |
| 一 | 教育課程構成の哲学的基礎を問い直す
ー教育課程研究の今後の方向を探るー | 安彦 忠彦 |
| 二 | これからの教育課程研究の方向を探る | 佐藤 三郎 |
| 三 | 教育実践研究の方向 | 坂元 昴 |
| 四 | 学校論と教授学の課題 | 杉山 明男 |
| III | 戦後における教育実践・理論をどう継承し、発展させるか | |
| 一 | どうすれば遠回りすることができるか | 上田 薫 |
| 二 | 戦後初期の「生徒参加」論 | 藤田 昌士 |
| 三 | 前代教育方法と近代教育情報の関連
ー敗戦後の教育遺産のきわだつ二面とそのゆくえー | 庄司 和晃 |
| IV | いま、教師に求められるもの ー大学の教育学教育、教育実習、
生活指導、教科指導などの立場からー | |
| 一 | 大学の教育学教育、特に教育実習の見直しについて | 柴田 義松 |
| 二 | 教師教育のカリキュラム構想と展開 ー教育実習改善の視座からー | 高田 喜久司 |
| 三 | 教師像形成のための”批判”意識形成について
ー大学における教員養成の課題のためにー | 川口 幸宏 |
| 四 | いま教師に求められるもの | 坂本 光男 |